平成25年度前期 イノベーション人材養成機構 講義

●大学院キャリア科目

平成25年4月4日

	講義・演習科目	講師	日程	時間	講義室
23005	コミュニケーション戦略	増沢 隆太 (東京工業大学 特任教授)	4月17日(水)	13:20~14:50 (5-6限)	すずかけJ234講義室
			4月24日(水)		
			5月8日(水)		
			5月15日(水)		
			5月22日(水)		
			5月29日(水)		
23004	テクノロジーマネジメント実践論(S)	古田 健二 (東京工業大学 特任教授)	4月17日(水)	15:05~16:35 (7-8限)	すずかけJ234講義室
			4月24日(水)		
			5月8日(水)		
			5月15日(水)		
			5月22日(水)		
			5月29日(水)		
23006	キャリアデベロップメント演習	増沢 隆太 (東京工業大学 特任教授)	6月12日(水)	13:20~14:50 (5-6限)	大岡山 本館H112
			6月19日(水)		
			6月26日(水)		
			7月3日(水)		
			7月10日(水)		
			7月17日(水)		
23003	グローバル企業の研究開発実践論 I	星野 和哉 (GEヘルスケア・ジャパン(株) 執行役員 技術本部長)	6月12日(水)	15:05~16:35 (7-8限)	大岡山 本館H112
		中村 幸紀 (元ポッシュ(株)技術参与)	6月19日(水)		
		島谷 克義 (ファイザーヘルスリサーチ 振興財団 理事長)	6月26日(水)		
		池上 徹 (シュルンベルジェ(株)開発本部 Principal Physicist)	7月3日(水)		
		村田 耕 (アジレント・テクノロジー・インターナショナル(株)製品開発部長)	7月10日(水)		
		大羽 隆元 (デュボン(株)グローバル ビジネスディレクター)	7月17日(水)		
		岡田 常義 (元ポリプラスチックス(株)常務取締役)	7月24日(水)		

【参考】後学期

23001	キャリアデザイン(O)	伊東 幸子(東京工業大学 特任教授)
23002	キャリアデザイン(S)	守島 利子(東京工業大学 特任教授)
23007	グローバル企業の研究開発実践論 II	岡田 常義(元ポリプラスチックス常務取締役) 他
23008	テクノロジーマネジメント実践論(O)	古田 健二(東京工業大学 特任教授)
23009	ロジカルコミュニケーション演習	増沢 隆太(東京工業大学 特任教授)
23010	キャリアデベロップメント実践演習	

* 講義室	H112:大岡山キャンパス 本館1階 H112
	すずかけJ234講義室:すずかけ台キャンパス J2棟 3階 J234

- ※ 講義の日程、講義室は変更になる可能性がありますので、OCWやメールのお知らせ等を確認してください。
- ※ 上記キャリア科目講義の他に、公開講座も予定しています。上記講義を受講された方には本機構で開催されます公開講座やキャリアイベント等のお知らせを優先的にお送りします。
(H24年度例:「地頭力を鍛える(細谷功先生)」、「テクノロジーマネジメント(古田先生)」、「企業選び・企業分析(増沢先生)」等)

※ 「テクノロジーマネジメント実践論」、「グローバル企業の研究開発実践論」の第1回の課題は、下記の「イノベーション人材養成機構」メールアドレス宛に課題を添付し提出のこと。

- メールアドレス: productiveleader@jim.titech.ac.jp
- 件名: 第1回 科目名 OO先生レポート(氏名)
- ファイルタイトル: OO先生レポート 学籍番号 氏名
- 〆切: 講義日の一週間後の同曜日17:00まで

担当講師紹介

講義・演習科目	担当講師	講師紹介
グローバル企業の研究開発実践論 I	星野 和哉	GEヘルスケア・ジャパン(株) 執行役員 技術本部長。日本企業(横河)に入社後、外資とのジョイントベンチャー(GEヘルスケア・ジャパン)に移籍。グローバル企業における画像診断装置の研究・開発について豊富な経験を有すると共に、日本企業から外資系企業への企業体質変遷の体験者として、それぞれの特徴を理解している。また、リーダーの育成で有名なGEの人材開発についても明るい。
	中村 幸紀	元ポッシュ(株)技術参与。日産自動車をはじめ自動車関連業界において、車・部品など幅広い最終製品の開発業務を経験している。現在はドイツをベースとする世界最大の総合自動車部品メーカーであるポッシュの日本法人で、技術開発全般をサポートしている。日産では国内に加えて米国開発拠点で8年、英国で4年の海外勤務後、10年前にフランス・フォルシア社、ドイツ・ポッシュ社で車部品開発に従事するなど、欧米自動車業界で20年以上の海外開発経験を有している。
	島谷 克義	(財)ファイザーヘルスリサーチ振興財団・理事長、ヨーロッパ系、米国系の製薬企業において研究開発本部長、臨床開発部門統括などの要職を経て現在に至っているが、この間の実体験を通じて研究開発依存度の高い製薬企業における研究・開発活動のあり方などに豊富な知見・見識を有している。
	亀山 正俊	三菱電機(株)人材開発センター・センター長。計算機を使った表示システム、大画面表示システムなどの研究開発に従事し、情報技術研究所のマルチメディア技術部門の統括などをを経て現在に至る。この間MIT・メディアラボの客員研究員、米国ボストンの三菱電機米国研究所であるMERL(Mitsubishi Electric Research Laboratories)の執行副社長などを通じてアメリカにおける研究開発活動を当事者として経験している。
	池上 徹	シュルンベルジェ(株)開発本部 Principal Physicist。入社後、資源探査用計測機器開発プロジェクトにて、計測理論・実験・シミュレーション・データ解析と、幅広い業務分野を担当する。プロジェクトの完了後、米国の研究センターにて油井内での音波伝搬に関する基礎的研究に従事。帰国後、プロジェクトマネージャ、プログラマネージャ等の中間管理職を経て、再び技術職に就く。大学院時代の専門は超低温物性実験。単に「面白そうだから」というのがこの道に足を踏み入れた理由。
	村田 耕	アジレント・テクノロジー・インターナショナル(株)半導体パラメトリックテスト事業部 製品開発本部長。測定器の開発に従事後、部品事業の日本開発センター・センター長、現事業部のマーケティング部長などを経て現在に至る。アジレント・テクノロジーはヒューレット・パッカドから電気・電子測定、ライフサイエンスなどのビジネスが分離独立した会社で、事業部制をとっており、日本の事業部は主に半導体のテスト用の機器の企画、開発、製造を担当している。
	大羽 隆元	デュボン(株)グローバルビジネスディレクター。大学院修了後、デュボンに入社。電子材料事業部にて、日本、並びにアジアの顧客向け製品開発に携わる。その後、営業担当、新規ビジネス開発担当、アジア地域マーケティング、グローバルマーケティングの仕事に従事。現在、同事業部にて、グローバルのビジネス責任者として、研究・製品開発から、製造、販売にわたり指揮している。
	岡田 常義	元ポリプラスチックス(株)参与。日本企業とアメリカ企業(後にヨーロッパメーカーに買収された)との合弁企業としてスタートした世界トップの高機能樹脂専門メーカーにおける研究開発、事業化推進を通じての海外企業における研究開発活動について実体験が豊富である。同時にこの間M&Aなどによる親会社の変更を度々経験していて、研究開発にとどまらず海外企業の行動様式についても深い理解を有している。
テクノロジーマネジメント実践論(S)(O)	古田 健二	東工大特任教授。総合電機メーカーで開発業務の要職を担当した後技術マネジメントに焦点をあてた経営コンサルタントとして活躍し産業界における技術活動に関して豊富な知見を有している。米国系コンサルティング会社の代表として活躍後自ら技術マネジメントに特化したコンサルティング会社を設立し、ベンチャー企業の立ち上げの経験も有している。東工大において21世紀COEおよびグローバルCOEの特任教授として8年間活動し、学位取得者の教育への経験も豊富である。
コミュニケーション戦略 キャリアデベロップメント演習	増沢 隆太	東工大特任教授。外資系企業でブランドマネージャー、取締役CMO、営業本部長、子会社代表取締役等歴任後、独立。人事・経営コンサルタント会社設立。東工大学生支援センターキャリアアドバイザーや他大学のキャリア指導等、年間400例の本格的キャリア・心理カウンセリングを行う。企業の採用コンサルティング、EAP、講演、人事系著書もある。コミュニケーションとキャリアに関するコラムも多数。